

生活単元学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 西山大輝

1. 日 時 令和6年2月15日(木) 第5校時(13:25~14:10)
2. 学 年 育成学級 3組(1年1名 3年2名 5年3名)
3. 単元名 3組新聞を書こう
4. 単元の目標
 - 先生や友だちの話をよく聞いて、活動に参加できる。
 - 相手や目的を意識して、アンケートの集計結果から書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
 - 相手や目的を意識した新聞記事になっているか確かめ、文や写真などの表し方を工夫している。

5. 単元の評価規準

【知識・技能】

相手や目的を意識して文章や写真など、伝えたいことを選んでいく。

新聞の、内容について、順序や割り付けを考え、文で表現しようとしている。

【思考・判断・表現】

作成した新聞記事をふりかえり、相手により伝わりやすくするための改善点を考えていく。

【主体的に学習に取り組む態度】

先生や友だちの話をよく聞いて、意欲的に活動に参加している。

6. 単元について

(単元)

育成学級の児童は、自分の思いや考えを伝えることを進んで行う。日常でのコミュニケーションではよく話す姿が見られたり、交流学習の学習発表会では、グループで協力して発表をしたりすることができている。言葉での表現が難しい児童も目や表情を使ったり、短い言葉を使ったりして相手に思いを伝えている。

コミュニケーションの場面では、自分の思いを一方向的に伝えることがあり、相手の話をよく聞くことや相手の気持ちを考えて発言することについては課題が多い。そのため、相手意識をもち、会話のキャッチボールができる力を育みたい。

これまで、『5W1H』を使って話したり、書いたりする活動や、発表に向けて原稿を作ること、四錦小ホームページに載せる記事を書くことなど様々な表現活動に取り組んできた。そこで本単元では、読み手が知りたい情報に合わせて記事や写真を用意し、相手意識をもって新聞を作る学習を行うこととした。Formsを使ったアンケートを交流学年に向けて実施し、「3組について知りたいこと」をたずねる。質問項目も育成学級児童が考えるようにし、質問を考えながら3組の魅力についてふりかえられるようにしたい。アンケート結果から特に知りたいとされる情報を児童等で集め、どの情報を使って新聞を書くか決めていく。新聞を作る際には、記事や写真の割り付けや文章の内容など見返して、よりよくするために思考する場面も設けたい。活動を通して自分たちのクラスの魅力的なところを改めて実感できる学習を目指していきたい。

7. 本時のねらい

伝わりやすい新聞記事を作るために、情報を集める。集めた情報を精査し、新聞の割り付けを考える。

A児	集めた情報の中から伝えたいものを選ぶ。
B児	集めた情報の中から伝えたいものを選び、どんな新聞にするのかを具体的にイメージをしながら割り付けを考える。
C児	集めた情報の中から伝えたいものを選ぶ。
D児	集めた情報の中から伝えたいものを選び、どんな新聞にするのかを具体的にイメージをしながら割り付けを考える。
E児	自分の伝えたいことの情報を集める。
D児	集めた情報の中から伝えたいものを選ぶ。

8. 指導計画（全8時間）

時	主な学習活動	活動のポイント
1	活動計画を立てる。	事前に児童に向けて実施していた「3くみのせんせいのもっと知りたいことアンケート」の結果をもとに、指導者が作成した新聞を読むことで、活動のゴールをイメージできるようにする。新聞の魅力や読み方を学習し、どんな新聞を作りたいか考えられるようにする。
2	アンケートを作る。	交流学年に3くみのどんなことに興味を持ってもらいたいか考え、アンケート内容を考える。また、交流学年にアンケートの説明をする資料を用意したり、説明の練習をしたりする。
3・4	記事にする内容を考える。	アンケート結果をもとに記事にする内容を考える。記事を書くために必要な情報を集める。
5(本時) ・6	集めた情報を整理する。	集めた情報の中から、特に伝えたいことを選び、記事の割り付けを考え、原稿を書く。
7	新聞作りをする。	準備した写真や原稿を使い、新聞の作成をする。
8	発表の練習をする。	新聞記事をもとに、相手意識を持ちながら練習するようにする。クラスメイトに発表を聞いてもらい、互いにアドバイスをし合う。
9	発表をする。	帯学習で交流学年に発表をする。 保護者に向けて発表をする。 発表が難しい場合にはビデオ発表をする。

9. 本時の学習

		学習における留意点	I C T活用	評価の視点
導入	○教師が作成した新聞と、教科書の新聞の見本を見比べて、読者に伝わりやすい工夫について考える。	◎教科書の見本は見出しが大きく表されていることや、伝えたいことに合わせて記事の大きさが違うことなどに着目できるようにする。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">めあて 読み手に伝わりやすい新聞について考えよう。</div>				
展開	○各学年に分かれて、集めた写真や記事などを紹介し、集められた資料を見て、新聞の割り付けを考える。 ○考えた割り付けをクラスの友だちに発表をする。	◎自分が準備した資料にこだわらず、友だちの集めた資料にも関心を持ち、一緒に新聞を作ることを理解できるように声かけをする。 ◎発表をもとに友だちの割り付けの良さや改善点について話し合う。	電子黒板	【知識・技能】 相手や目的を意識して文章や写真など、伝えたいことを選んでいる。新聞の、内容について、順序や割り付けを考えている。(行動観察) 【思考・判断・表現】 作成した新聞記事をふりかえり、相手により伝わりやすくするための改善点を考えている。
まとめ	○改善をした割り付けを全体で交流をする。	◎どうしてその改善をしたのかについて触れ、自分なりの伝わりやすい表現について振り返られるようにする。		

10. 板書計画

3くみ新聞を作ろう

めあて 読み手に伝わりやすい新聞
について考えよう。

教師の用意した新聞

教科書の見本